

地域がん診療連携拠点病院における 栄養科の役割



現代は、食生活の変化に伴い生活習慣病をはじめ、がんの罹患率も増加傾向にあります。抗がん剤治療を受けることで、個人差はありますが副作用を伴うことがあります。味覚・嗅覚の変化や食欲不振等、放射線治療による影響も考慮し、食事が思うようにすすまない患者さんには管理栄養士が病棟に出向き、食事相談に伺っています。できる範囲ではありますが、食べやすい形に食事内容を調整いたします。抗がん剤治療以外にも手術やその他何らかの理由で食欲低下が見られる場合等、適宜相談に応じますのでお気軽にお声かけください。(栄養補助食品をつけたり、主食を麺類等に変えたりすることもできます)

食欲のない方へ

(※ご希望があれば、入院中に下記のような食事を提供することもできます。)

●ライト食: 食事量は半分で、果物や捕食（お菓子類）がついています♪

<メニュー例>

- ・いなり寿司
- ・すまし汁
- ・炒め煮
- ・白菜サラダ
- ・煮豆
- ・捕食

(シークリーム、メイプルシロップ、
ルヴァージュ)



その他、患者さんの栄養管理を適切に実施し、病状に応じた食事（形態を含む）を提供することで早期回復を図るよう努めています。食事が患者さんの楽しみになるように、行事食を取り入れたり旬の食事を使用した料理で季節感を出す等の工夫を行っています。また、病院でお誕生日を迎えられる患者さんには心ばかりではありますが、デザートを追加してお祝いさせていただいています。

クリスマス



お誕生日



●栄養指導

入院、外来栄養指導を随時行っています（予約制）。食事によるコントロールが必要な方、退院後の食事、栄養食事相談等、ご希望がありましたら適宜対応いたします。

日時：平日 9:00～16:00

※当日指導を受けたい方は要相談。



●患者教室、チーム医療の取り組み

痔がん教室、緩和ケアチーム、ふれあいサロン（がんサロン）等でも栄養についてのサポートを行っています。患者教室に興味のある方はぜひ一度ご参加ください。

